

(様式3)

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

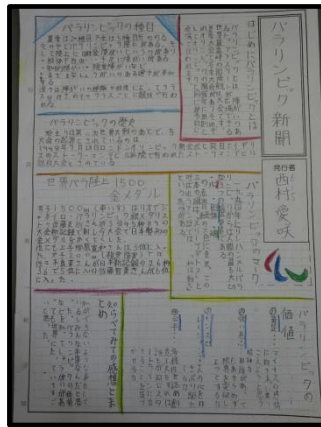
- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 姫路市立広畑第二小学校 】

1 実践テーマ	【I・II・III・IV】
2 実施対象者	第6学年 5クラス・175名 地域のスポーツ団体
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間・特別活動) ② 行事名 (オリ・パラ教育講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・パラリンピックスポーツが障害の種類に関わらず、競技を楽しく、公平に競うことができるように工夫されていることを知り、パラリンピックの意義を感じ、理解できるようにする。(学級活動) ・オリンピック・パラリンピックで関わりの深い世界の国について調べたことをプレゼンテーションにまとめ発表することで理解を深める。 (総合的な学習の時間) ・パラリンピック選手の経験を聞いたり、車椅子バスケットを体験したりすることを通して、障がい者スポーツへの関心を高める。 (オリ・パラ教育講演会)
5 取組内容	・「リオパラリンピックを知ろう」(学級活動) 導入 リオパラリンピックの映像を見せる。 展開 クイズ形式で自分たちが調べたことを発表させながら答えさせる。 ・競技用義足・パッド・タッピング棒・アギトスマーク ・柔道の試合の組み方・走り幅跳びのコーラー まとめ パラリンピックを象徴する言葉、東京パラリンピックについても触れ、振り返りをノートに書かせた。 ・「世界の国を調べよう」総合的な学習の時間 まず、東京オリンピックに参加する国の基本情報・学校の様子・気候や自然・産業・貿易・衣食住・スポーツ・音楽・遊び・文化・日本との関わりを調べさせた。次にパソコンを使って調べたことをプレゼンテーションにまとめ、学年で発表会を開き、意見交流させた。

・「パラリンピック新聞を作ろう」夏休みの課題

夏休みにパラリンピック新聞を作成することを家庭学習とした。そして夏休み明けにグループで意見交流させ、パラリンピックについて興味をもたせた。



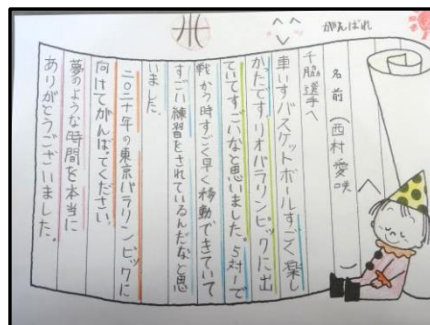
・「オリ・パラ教育講演会」(千脇貢・岩井孝義選手)

車椅子バスケットボールを体験したり、国際大会での話を聞いたりと選手との交流を深めた。講演会の振り返りとして、千脇・岩井選手に応援メッセージを書かせた。

(車椅子バスケット体験)



(応援メッセージ)



6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・東京パラリンピックに大変興味をもち、応援したいという気持ちなど参画意識が高まった。 ・実際にアスリートの方と交流し、自分の夢に向かって頑張っていこうという意欲をさらに高められた。 ・車椅子バスケットだけでなく他の障がい者スポーツにも興味をもつ児童が増えた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の実践集を参考にしながら、地域のスポーツ団体にも呼びかけた。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の内容について当初の予定と異なっていたため、事前の打ち合わせ等窓口の一本化が今後必要である。 ・系統立てた指導や継続的に取り組むための手立てが必要である。 ・予算の確保も必要になってくる。
9来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の課題解決を図り、以前から実施している4年生での活動を中心にさらに本校のオリパラ教育の充実を図る。